

9月定例会



みんなで楽しく - 大治南保育園 運動会 -

幼保無償化に向けて 補正予算可決

平成30年度全ての決算を認定

令和元年9月定例会は、9月4日に開会し、24日までの21日間の会期で行いました。

「町パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定」、「平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定」など、20議案を原案のとおり可決・認定しました。

また、町長が推薦した2人の人権擁護委員候補者を、適任であると答申しました。

主な条例の制定と改正

▼町のパートタイム職員の新制度

令和2年4月1日より、会計年度任用職員の制度が始まることに伴い、それに関係する条例を制定します。この条例により、任期が6カ月以上の会計年度任用職員にも、期末手当を支給することになります。

▼不当に差別されない 権利の見直し

町消防団条例の団員の欠格条項から、成年被後見人と被保佐人を除くなど、4つの条例を整理します。

成年後見制度ってどんな制度？

下記のQRコードから

確認できます。↓



▼印鑑の登録及び証明に関する条例の改正

印鑑登録証明書に旧氏の記載が可能となり、性同一性障害などのLGBTに配慮し、性別は登録しないこととします。

▼町災害弔慰金の支給などの見直し

災害援護資金の貸付利率を3%から1%にし、償還方法の年払い・半年払いに月払いを追加します。

主な補正予算

▼社会福祉協議会への人件費補助

476万1千円
町からの派遣職員が3月31日付で派遣終了したことに伴い、代わりに職員の人件費に対する補助です。

▼幼稚園の授業料無償化への対応

7887万円
新たな児童クラブなど建設へ

69万7千円
花常字福島地内の土地の寄附があり、そこに児童クラブなどを建設するため、測量などを行います。

▼可燃ごみ置場設置工事費

101万4千円
西條字殿池地内の可燃ごみ置き場を、水路の上部に鉄板を敷く形にします。

▼排水施設維持修繕工事費

2200万円
砂子第1排水機場の発電機と第2排水機場のモーターポンプを修繕します。

工事請負契約

▼公共下水道工事（北間島地区）

1億780万円
契約先：株式会社 加藤建設
工期：令和2年2月28日まで

本会議質疑 & 委員会ダイジェスト

町のパートタイム職員の新制度

条例制定の理由は

答弁 国により会計年度任用職員の制度が創設され、新たに期末手当を支給することになった。

その給与の支給に関して、条例で制定する必要があるため。

計画的な雇用を

質問 労働契約法では5年間任用が続いた場合、常勤へと変更する必要がある。他の方法も検討するべきでは。

答弁 会計年度任用職員は、労働契約法の適用を受けず、このままでいきたい。

町の負担増は

質問 期末手当の支給によつて所得増となるが、職務や職責などに変更はあるのか。

また、改正に伴う町の負担増は、どのくらいか。

答弁 制度移行しても、職務内容などに変更はない。

現在の臨時雇用職員127人全員が移行した場合、年間で約2500万円の負担増になると見込んでいる。

総代、衛生委員を業務委託へ

なぜ変えるのか

質問 町の特別職から、総代と衛生委員を除くが、なぜか。

また、今後はどうなるか。

答弁 地方公務員法の改正により、総代・衛生委員は特別職に該当しなくなる。今後、総代・衛生委員は、業務委託にする予定である。

事故などの対応は

質問 地方公務員の特別職から、個人への業務委託と身分が変更となる。

業務中の事故などによる補償や免責事項は、どのように考えているか。

答弁 今までは、特別職の公務員であったので、公務災害補償で対応できた。

変更後は現状と同じ補償がでないため、今後検討していく。

令和元年度一般会計補正予算

施設の使用目的は

質問 花常字福島地内の土地が寄附され、施設の建設計画がある。使用目的は児童クラブだけか。

答弁 子育て交流や子どもの居場所としても利用できる施設を予定している。

なぜごみ置き場を水路上に設置するのか

質問 西條字殿池地内にあり可燃ごみ置き場を水路上へ移設する工事である。

経緯と概要は。また、安全に使用できるのか。

答弁 住宅開発のため、現在のごみ置き場が使用できなくなるので、総代と協議し、計画した。

水路の上に9ミリの厚い鉄板を敷き、フェンスをコの字形に設置するので、安全と考える。

平成30年度一般会計決算の認定

工事監理に問題は無かったのか

質問 スポーツセンターメインアリーナ天井など改修工事に、監理委託料が1100万円計上されている。工期中に壁材が落下したとのことで、監理業務に問題があると考え、委託料を契約通り支払う必要があるのか。

町税収入は前年度に比べ0.6%増。妊婦期から子育て期の切れ目ない支援のため子育て世代包括支援センターの設立、大治はなつね保育園の開園、南小学校のトイレ改修など、将来を見据え、適正に予算が執行されたので、決算の認定に賛成する。

賛成討論 服部勇夫議員

議案	賛成	反対	議決結果
町パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	10	1	可決
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	10	1	可決
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	11	0	可決
印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	11	0	可決
職員の給与に関する条例の一部改正	10	1	可決
使用料及び手数料条例の一部改正	11	0	可決
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	11	0	可決
令和元年度 一般会計補正予算(第3号)	10	1	可決
令和元年度 介護保険特別会計補正予算(第2号)	11	0	可決
令和元年度 公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	11	0	可決
令和元年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	11	0	可決
平成30年度 一般会計決算	10	1	認定
平成30年度 国民健康保険特別会計決算	10	1	認定
平成30年度 土地取得特別会計決算	11	0	認定
平成30年度 介護保険特別会計決算	10	1	認定
平成30年度 公共下水道事業特別会計決算	11	0	認定
平成30年度 後期高齢者医療特別会計決算	11	0	認定
工事請負契約(公共下水道工事)	11	0	可決
海部地方教育事務協議会の規約変更	11	0	可決
令和元年度 一般会計補正予算(第4号)	11	0	可決
子ども医療費助成制度の拡充などを求める意見書	1	10	否決
義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	11	0	可決
国の私学助成の拡充に関する意見書	11	0	可決

教育に関する意見書を国に提出しました

下記の意見書案を可決し、国の関係機関に提出しましたので、要旨をお知らせします。

- 義務教育費国庫負担制度の堅持と拡充を
義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元にむけて、十分な教育予算を確保することを求める。
- 国の私学助成の拡充を
父母負担の公私格差を是正するための就学支援金や、経常費補助などの一層の拡充を図ることを求める。

研修会に参加しました

◆議員研修会 8月28日

「議会制度改革をめぐる状況について」
講師 総務部参事 伊藤亮一
(愛知県からの派遣)

参加者 議員12人

◆町村議会広報研修会

10月7日

第1部 『議会だより』の基本と編集
第2部 議会広報クリニック
講師 芳野正明氏
(議会広報サポーター)



町政を問う！ 一般質問

一般質問とは、議員が自身の考えや町民の声をもとに、町政全般について質問することです。質問と答弁を要約してお知らせします。

どう進める 地域学校協働活動



三輪明広議員 本町では、学校支援地域本部「はるポラ」を設置し、コーディネーターが学校と地域をつないでいる。ボランティアを募集し、学校支援活動を実施して、4年ほど経過している。

現在のボランティアの活動内容は、また、今後の地域学校協働活動を、どのように進めていくのか。

地域で子どもを支える仕組みへ

教育長 現在の活動内容は、家庭科の授業補助、校外学習の引率、環境整備、学習支援などである。今後は、他のボランティア団体などの組織と、情報交換の開催を継続して、連携・協働を強めていく。そして、地域全体で子どもたちを支える仕組みをつくっていききたい。

スクールカウンセラーの常勤化せよ



哲秀議員 昨今、いじめ、不登校、ひきこもり、虐待、自殺などが多く報道されている。林く報道されている。

町として、スクールカウンセラーを常勤化することで、子どもたちの悩みをより多く、より早く察知することができる。常勤化するべきではないか。そうすることで、子どもたちの明るい未来が見えてくるのではないか。

さらに体制を整える

教育長 2人のスクールカウンセラーが、中学校に週2日、各小学校は月2日ほど勤務している。また、ライフコンダクターが、各小学校を巡回している。担任や保護者と連携を取りながら、問題点を協議して対応している。今後、さらに体制を充実させていく考えである。

徘徊対策にQRコードシールの配布は



後藤田麻美子議員 認知症などで徘徊する高齢者の早期発見、保護につながるQRコード付きシールがある。

服や靴などにアイロンでシールを貼ることができる。QRコードを読み込むと、登録番号が表示される。住民の安心安全のため、町として活用すべきではないか。また、認知症対策はどうか。

配布は考えていない

町長 大治町では、認知症などによる徘徊高齢者の通報が少ない。そのため、QRコードの配布は考えていない。町では、認知症予防対策としての講座や教室を開催している。今後も重点的に対策を図っていく。

堀之内砂子線を問う



鈴木康友議員 都市計画道路は大変重要な路線であり、早期の開通が望ましい。しかし、全国で多発しているように、交通事故など安全への懸念が大きい。

①全体の開通計画はどうか。
②部分完成前に、事前調査や、地域住民への周知が必要ではないか。
③開通している区間は、発展が期待できる。建築物用途制限変更の検討は。

対策を検討し、計画的に進める

町長 ①用地取得に困難な箇所がある。今後手続きを進めていく。
②狭い道路への車の流入を減らす対策を検討する。地域への説明は、予定していない。
③計画見直しの要素になると考えている。

問 スポーツ等の奨励金を
答 奨励金以外で支援する

災害時の避難行動要支援者への対応は



若山照洋議員 今年5月から、避難指示や勧告を5段階で発表、発令するようになった。警戒レベル3で高齢者などが、避難することになっている。情報の入手しづらい避難行動要支援者の方々への対応は。また、町メールサービスの利用率向

上のため、登録の手助けをする考えは。

各種団体へ協力を求めていく

町長 災害時の避難に支援が必要であると登録された方々の名簿を消防署、警察署、民生委員、消防団などに配布する。支援する人が情報伝達や安否確認の協力ができると、体制づくりをしている。防災訓練などで、町メールサービス登録ブースを設けるなど、検討していく。

スポーツセンター 休館の規則変更の考えは



健児議員 スポーツセンターのトレーニング室の利用者が、増えてきている。

そのことを踏まえ、連休などで休館が続いてしまう現状を変えるため、規則を変更する考えはないのか。また、プールが使用できなくなっているから10年以上経過している。町はどのように考えているのか。

利用者の意向を参考にしていく

教育長 現在、休館の規則を変更する予定はない。しかし、利用者の意向を参考にし、3連休以上にならないように開館する方向で考えていく。プールの跡地利用は、現在も検討している。
問 公共施設の建設業務の
進め方は
答 現在検討している

認知症予防に「補聴器」購入の助成を



手嶋いずみ議員 難聴は、認知症の危険因子であると指摘されている。補聴器の使用は、認知機能の低下を遅らせる効果があると言われている。

しかし、補聴器は高額なため、使用を我慢している人が多い。そこで、購入費用を助成し、認知症予防対策を強化すべきではないか。

国の動向を注視していく

町長 認知症予防に関する講演会や、医師・看護師などによる訪問相談を実施している。補聴器の使用が認知症予防につながるかどうか、研究が進められている。今後の国の動向を注視していく。

問 ごみ出しマナーの違反
対策を
答 マナーを周知徹底する

暑かった 町総合防災訓練の日程再検討を



吉原経夫議員 今年も、町総合防災訓練は暑かった。せめて8月の終わりに行うとか、時間も早くできないか。それとも、あま市のように、夕方から夜にかけて行えないか。また、講習時に長時間整列することは、参加者に命の危険がある。時間短縮に努めるべきではなかったか。

日程はこの時期でいきたい

町長 他の行事の関係で、毎年この時期に訓練を開催している。講習を含め、時間短縮に努めている。引き続き調整していく。

問 緊急通報装置の充実を
答 今年度見直しを検討中
問 避難所を増やすべき
答 民間事業者等と交渉中

障がい福祉施策の充実を



松本英隆議員 第5期大治町障害福祉計画が発表され、一年半が経つ。支援が必要な方々が年々増加傾向にある状況を踏まえて問う。

計画推進体制として、行政や当事者団体、社会福祉法人、事業者、NPO法人、ボランティア団体などの民間団体との連携を一層図るとある。現在まで実際何を行ったのか。

働く場の情報を発信

町長 施設入所から地域生活への移行と就労支援などをより充実させていく。そのため、海部東部障害者総合支援協議会であま市と連携している。障がいのある方でその家族を対象に、雇用の促進、福祉事業への理解を図るため、「働く情報発信フェア」を開催している。

青森県の蓬田村と蟹江町 タブレットの活用について来訪

◆青森県蓬田村 7月3日(水)

「タブレットの導入と利用状況について」

◆愛知県蟹江町 7月23日(火)

「議会のICT化について」

タブレットを導入して、2年が経過しました。活用方法に興味関心を持っていただくと、大変喜ばしいことです。

今後も研さんし、町民に還元できるツールとしていきます。

改選後初めての議会懇談会を開催

●日時 9月5日(木) 午前10時

●場所 役場4階 議員控室

●団体名 情報公開のあり方を考える会

●参加者 11人 議員 12人

●懇談会のテーマ 議会の情報公開のあり方
●テーマの趣旨 住みよい町にするために、議会で何を話し合われているかが知りたい。選挙の投票率が低いことから議会に関心を持ってもらいたい。そのため、議会の詳しい情報公開を希望する。



意見交換で住みよい町へ



議場でレクチャー

今回、新たな試みとして、住民からの申し込みによる、議会懇談会を初めて実施しました。「議員活動を知ってもらうために、クローバーテレビで議会中継を検討してはどうか」「本町の低投票率問題も改善すべき」など、皆さまから数多くの熱心なご意見を頂きました。頂いたご意見と議会の回答のまとめは、町ホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

頂いたご意見は議会活動に生かしていきます。今後も町民の方々の意見交換の場として議会懇談会を行います。多くの申し込みをお待ちしています。

※下記QRコードから直接アクセスできます。



https://www.town.oharuaichi.jp/gyosei/gkai/13.html#01

まちかどインタビュー

No.57

振り返る 伊勢湾台風

今年、戦後に東海地方最大の被害をもたらした伊勢湾台風から60年です。

当時は消防団員で、その後、町の消防団長を長く務められた鎌須賀にお住まいの立松信男さん(84歳)に、お話を伺いました。



立松 信男さん

「家族全員で雨戸を押さえた」

「どんな一日でしたか。」

9月26日、朝から夕方までは穏やかな天気だった。本日に台風が来るのか、そ

れども、嵐の前の静けさなのかと疑っていた。すると、夕方5時か6時頃から、天気が急変した。強い南風と豪雨で自宅が壊れそう、家族全員で雨戸を押さえた。

「堤防では、亡くなった人の火葬をしていた」

「どんな様子でしたか。」

旧十四山村に親戚の家があり、家が見えない程の被害が出ていると聞いて、心配になった。10月1日、おやじと二人で自転車で向かった。国道1号線から行ったが、所々堤防が切れていて自転車では行けなかった。そこで、自衛隊の船で現地まで向かった。堤防では、亡くなった人の火葬を行っていた。

消防団では、オート三輪車に何人か乗せ、土のう作りのため、弥富市方面に2回程向かった。津島市は、まだ水に浸かっていたため、祖父江町から木曾川堤防を下って現地入りした。青年団としても、何日かボランティアに出掛けた。

本日は、お忙しいところお話ししていただき、ありがとうございました。

立松さんにとっては、被災の記憶を思い出すことは、大変辛く苦しい部分もあったかと思えます。

しかし、お話を聞いて改めて、伊勢湾台風の凄まじさや被害の大きさを思い知らされました。

災害は、突然自分たちの生活に襲い掛かります。各家庭で非常時の準備をすることはもちろん、隣近所の人に声をかけられる関係を、普段から意識することも大切です。

今回のお話を伺い、今後は、本町にとって大きな財産です。



被害の大きさを物語る
全壊した当時の大治村農協

伊勢湾台風とは、昭和34年の超大型台風である。夕方より突然記録的豪雨が集中し、住宅に大被害がでた。さらに満潮時と重なり、水位が4m以上上昇したため、海岸に近い海部地域では500人近い死者が出た。

本町では、幸いにも死者が出なかったが、重軽症者15人、全壊15棟、半壊336棟の被害が出た。

(大治町史より)

災滅災に努める思いを、今まで以上に強く抱くようになりまし。



立松さんは、消防活動に寄与したことから、平成14年に「勲六等単光旭日章」が授与されました。

「皆様のおかげで授与することが出来ました」と真摯に感謝の思いを繰り返して述べられた立松さんは、本町にとって大きな財産です。

暫時休憩

▼秋と言えば：スポーツ・芸術・読書・食欲などが思い浮かぶ。

▼災害が多いことも忘れてはいけない。今年、伊勢湾台風から60年が経ち、伊勢湾台風を体験した人も少なくなってきた。

今年も、大規模な災害が発生した。大治町議会は、水害対策のプロジェクトチームを結成(令和元年9月)し、水害時における議員の行動を検討している。

▼議会公開の一つとして、議会中継も検討している。▼議会懇談会の要綱を新たに作成した。町民と意見交換し、住みよい「大治町」にしていきたい。

12月定例会 日程(案)

- 3日(火) 開会
上程・提案説明
- 9日(月) 一般質問
- 10日(火) 質疑など
- 12日(木) 総務教育
常任委員会
- 13日(金) 福祉建設
常任委員会
- 20日(金) 採決など
閉会

※開会は10時です。日程は変更となる場合があります。